科目名	専門演習Ⅲ　　Seminar III						
科目担当者	千知岩 正継　　CHIJIIWA Masatsugu						
単位数	4	配当年次	4年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　演習］ 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	実際問題、卒業論文を執筆し完成させるのは結構大変な作業です。しかし、適切な手順と形式を踏まえ、かつリサーチ・スキルを活用すれば、卒論は誰でも書けるものです。この演習では、卒論完成に向けた指導を行います。						
授業の到達目標	①リサーチ・スキルの基本を獲得できる ②リサーチ・スキルを駆使しして、卒業論文を書きあげることができる。						

授業計画・内容

1	ガイダンス	16	卒業論文の執筆①
2	リサーチ・スキル	17	卒業論文の執筆②
3	論文の書き方	18	卒業論文の執筆③
4	パラグラフ・ライティング	19	卒業論文の執筆④
5	テーマの設定	20	中間報告①
6	先行研究のレビュー①	21	中間報告②
7	先行研究のレビュー②	22	卒業論文の執筆⑤
8	先行研究のレビュー②	23	卒業論文の執筆⑥
9	卒業論文研究計画書の作成①	24	卒業論文の執筆⑦
10	卒業論文研究計画書の作成②	25	初稿の提出
11	卒業論文の構想発表①	26	初稿の修正①
12	卒業論文の構想発表②	27	初稿の修正②
13	卒業論文の構想発表③	28	修正初稿の校正①
14	卒業論文の構想発表④	29	修正初稿の校正②
15	卒業論文研究計画書の修正	30	完成稿の提出

授業外学修（事前学修）

各人の進捗具合をみながら適宜指導を行います。
（毎週 2 時間程度）

授業外学修（事後学修）

各人の進捗具合をみながら適宜指導を行います。
（毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応

成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
卒業論文作成への取り組みと最終稿の完成度で総合的に評価します。	100%	①、②

成績評価基準

秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合
優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合
良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合
可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合
不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合

教科書

なし

参考文献

小笠原喜康『最新版 大学生のためのレポート・論文術』（講談社、2018 年）。
戸田山和久『最新版 論文の教室 レポートから卒論まで』（NHK 出版、2022 年）。
林直亨『学び合い、発信する技術―アカデミックスキルの基礎―』（岩波書店、2022 年）。

その他

指導は各人の進捗度に応じて柔軟に対応します。